

令和3（2021）年度入学生向け
 令和2（2020）年度以前入学生（一部改訂）

「データサイエンティスト養成履修カリキュラム」（国際地域創造学部による開講）
 （文部科学省「数理及びデータサイエンスに係る教育強化」協力校(本学)選定に伴う事業）

1. カリキュラムの背景と目標

文部科学省「数理及びデータサイエンスに係る教育強化」協力校に本学が選定され、令和2（2020）年度より国際地域創造学部で事業を先行実施することに伴い、開設されたのが「データサイエンティスト養成履修カリキュラム」です。今後、数理・データサイエンスの基礎知識は、専門分野に限らず、全国すべての大学の学生が身に付ける素養として位置付けられる方向に進んでいます。

本カリキュラムは、データサイエンス(データを処理し、高度なデータ解析を行う分野)の初級・中級程度の能力を養い、養った力を様々な分野における「価値創造」につなげることのできる人材を養成することを目指します。

2. 受講対象の学生

国際地域創造学部の在学生(プログラム配属後は全プログラム所属学生)

国際地域創造学部以外の他学部生も受講可

3. 科目の開講時期と認定証交付の条件

科目を開講するタイミングは、下表の通りです。

	1年次		2年次		3年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
数理		データサイエンスのための基礎数学(隔年)				
			経済数学(基礎・応用)			
データサイエンス	社会科学のための統計入門(第1クォーター又は第3クォーター)					データサイエンス中級(隔年)
	基礎統計学(第2クォーター又は第4クォーター)					
	データサイエンス概論			データサイエンスのためのPythonプログラミング(隔年)		
	データサイエンス初級	データサイエンス初級(隔年)				

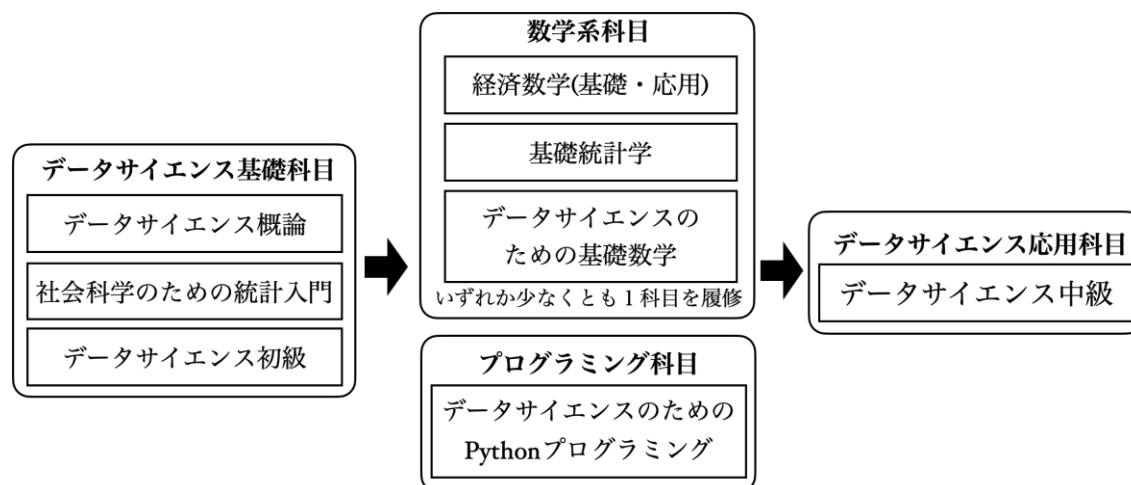
(i) は「認定証交付のために必ず履修しなければならない科目」、 は「認定証交付のためにいずれか1科目以上を選択し、必ず履修しなければならない科目」です。認定証交付に必要な修得単位数は12単位以上です(令和3(2021)年度入学生の場合)。

(ii) 上記表内の年次は、「その年次を含む、より高年次の学生まで科目を履修可能」であることを示します。

(iii) 科目の詳細は、時間割配当表とシラバスを参照してください。

4. 科目履修の流れ

履修モデルとして、次のような科目の履修を推奨します。数学に苦手意識を持つ皆さんは、数学を選択しない履修も可能です。この機会に数学への苦手意識を克服したい皆さんは「データサイエンスのための基礎数学」や「経済数学」にチャレンジしてみてください。



5. 「データサイエンティスト養成履修カリキュラム」修了認定証の発行

必要な科目を履修し、単位を修得した者にはデータサイエンティストの素養を国際地域創造学部が証明する「認定証」を交付します。認定証は、プログラムの選択に関係なく発行します。

6. 令和2（2020）年度以前入学生（一部改訂）

「データサイエンス上級」は、「データサイエンスのためのPythonプログラミング」の単位を修得することで認定します（単位の読み替え可）。「データサイエンス概論」の履修は可能ですが、認定証交付の条件には該当しません。従来どおり、認定証交付に必要な修得単位数は10単位以上です。

問い合わせ先:国際地域創造学部・経済学プログラム

山田健太 (k-yamada@eve.u-ryukyu.ac.jp)

高岡 慎 (takaoka@grs.u-ryukyu.ac.jp)

岩橋培樹 (roki@grs.u-ryukyu.ac.jp)

杉田勝弘 (ksugita@grs.u-ryukyu.ac.jp)

瀬口浩一 (osoguchi@eve.u-ryukyu.ac.jp)